

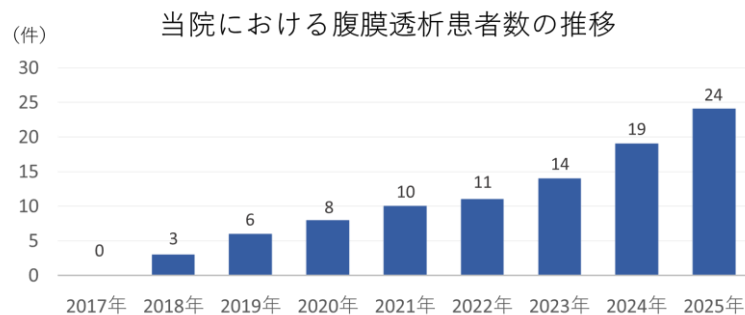
1. 腎臓病に関わる幅広い疾患に対応

急性腎障害、糸球体腎炎、慢性腎臓病、腎不全に加えて、腎臓病の原因となる高血圧、糖尿病、膠原病などに対する治療を幅広く行っています。最新の知見に基づいた的確な診断と最適な治療を心がけ、地域に愛され、信頼される腎臓内科を目指して全力で取り組んでいます。



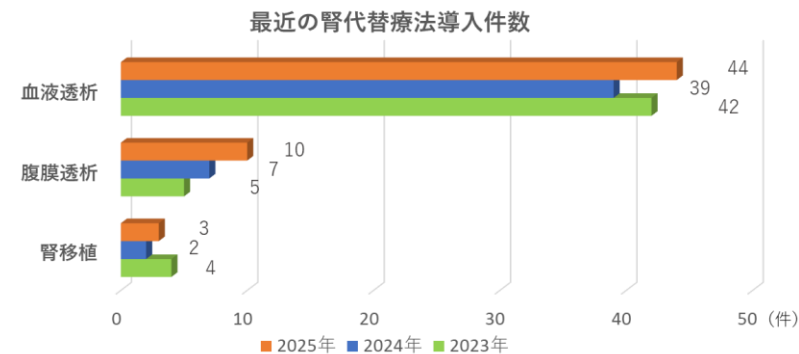
2. 山梨県の腹膜透析診療を支える

2018年に厚生労働省が「適切な腎代替療法の推進」を掲げて以来、国内の腹膜透析の普及を目指した制度改定が順次行われています。山梨県は人口対比の透析患者総数が全国に比べて多いのですが、腹膜透析患者は1%程度と全国平均を大きく下回っています。県内の腹膜透析診療施設が限られている中で、当科は最も多くの腹膜透析診療を担っている医療機関として、患者さんのQOLを重視した透析生活を支えるべく、日々多職種と協働しています。



3. 県内で唯一、腎移植を実施できる医療機関

山梨大学医学部附属病院は、県内で唯一、腎移植を実施できる医療機関です。腎臓内科外来で腎移植に関する説明や腎移植の可否を判断し、泌尿器科で移植手術を実施します。腎臓内科では、周術期の内科的管理と、退院後の長期的な外来管理を担当しています。



4. 腎臓リハビリテーションの実施

当科では、血液透析導入期から腎臓リハビリテーションを積極的に実施しています。血液透析は1回4時間、週3回行われることが一般的で、年間では624時間を透析治療に費やします。こうした長時間の臥床は筋力・身体機能の低下を招き、転倒・骨折、死亡のリスクを増加させます。早期からの腎臓リハビリテーションを通して、運動に関する適切な考え方・方法を身につけることで、身体機能の維持・向上を図り、予後の改善をサポートします。

